

令和3年度予算審査要望書

(スマートーフシティの推進)

- 1 コロナ禍は、地域経済に甚大な影響を与えている一方で、地方への移住の関心の高まりやテレワークなどの新たな働き方など、意識改革や行動変容をもたらした。これに伴い、様々な分野においてデジタル化への対応の加速化が求められる状況となっている。

そこで、新型コロナウイルス感染症の影響による地域経済の急激な収縮や、令和元年東日本台風で代表される災害リスク、少子高齢化や人口減少といった、本市が抱える様々な課題を乗り越えるために、デジタル技術や先端技術を活用したスマートーフシティを推進し、新しい生活様式への対応と地域間や世代間の格差解消に積極的に取り組まれない。

また、スマートーフシティの推進に当たっては、市民の安全安心を第一に、地域の実情に沿った市民目線による取組を進めるとともに、デジタル弱者を取り残さないよう十分配慮されたい。

(新型コロナワクチン接種の円滑な実施並びにPCR検査及び抗原検査の充実)

- 2 市民が、新型コロナウイルスワクチンを安心して接種できるよう、特に、高齢者や障がい者が受けやすい、地域の実情に応じた接種体制の構築の提供に努められたい。また、市民に対して、ワクチン接種のスケジュールを提示しているが、関連する医療機関などと十分に連携協力をしながら市民が不安なく安心して、速やかに接種できるように努められたい。

加えて、PCR検査及び抗原検査の充実を図り、新型コロナウイルス感染症に対する市民の不安を払拭されたい。

(子育て世代包括支援センターの充実)

- 3 市民が、安心して出産・育児ができるよう、さらに、少子化対策・定住促進の観点から、子育て世代包括支援センターの周知に努めるとともに、妊産婦やその家族が気軽に相談ができる環境を提供するための、保健師の配置を含めたセンターの設置体制の見直しと充実に努められたい。

(新型コロナウイルス感染症の影響に対する事業者支援)

- 4 新型コロナウイルス感染症対策による市内事業者の営業自粛や時短営業などの影響は、計り知れない状況にある。その経営状況は、事業者によって様々であると思われるので、直接的又は間接的かつ継続的に豊富な支援メニューをもって、充実した支援に当たられたい。

(中山間地域の活性化支援)

- 5 今年度にあそ野学園義務教育学校が開校し、現在、葛生義務教育学校の開校準備が進められている。閉校する学校の周辺地域では、学校を中心とするコミュニティーの衰退が懸念事項とならないよう、新たな人の流れの創出、小さな拠点作り、移住・定住等といったコミュニティーの活性化、新たなコミュニティーの立ち上げなどをもって支援に当たられたい。

(移住・定住に資する住まいと雇用の創出)

- 6 東京一極集中の是正に向け、移住・定住に関する取組を推進しているものの、未だ若年層の、特に女性の転出超過については改善の兆しが見出せない状況が続いている。こうした状況下、新型コロナウイルス感染症の影響によって、都会暮らしから田舎暮らしへの価値が見直され、地方移住への追い風が吹いている。これまで負の資源とされた空き家が、価値ある地域資源として脚光を浴びていることを踏まえ、二地域居住など新たな空き家の活用に努められたい。

また、暮らしの拠点整備だけでなく、若年層の安定的な雇用創出のため、企業誘致を強化し、出流原PA周辺総合物流開発整備をはじめ、国道50号沿線開発や田沼・葛生地域における新たな産業団地の調査及び開発に努め、若年層の移住・定住のニーズに応える取組の充実に努められたい。